

令和6年度 事業報告書

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

学校法人 常楽寺学園

移転して2年目になり、園舎や園庭の環境なども少しずつ整いつつあるが、子ども達の成長や姿などを考察し、職員間で議論を重ねる一年となった。移転先での異年齢保育に移行して2年が経過し、現在の年中の子ども達が年長になるにあたり、学年での活動を多く取り入れることにした。

当園の保育室は様々なプロジェクトに合わせて変更できるように工夫をしているが、保育室の構成についても、個々の探求プロジェクトをさらに熱中できる環境づくりの為、令和7年度より変更することにした。

特性のある子ども達も年々増加しており、保護者の方と教職員間で綿密に話し合いを進めながら、関わり方や落ち着ける環境づくりなど、少しずつ環境を充実させていきたい。

最近、保護者の方とお話をする機会が多いが、子どもの主体性や好奇心を育みたいという考えをお持ちの方が多く思う。園でも異年齢保育や様々なプロジェクトを行っているが、さらに純粋体験が豊かになるように教職員たちと検討をしていきたい。

移転をして2年が経ち、予想外の問題も数多くあったが、一つひとつ熱心に解決していく教職員たちの努力のおかげで無事に過ごすことができた。

新たに熱心な保護者と元気いっぱいの子を迎え、おかげさまで充実した保育を実施できた。今後も一層気持ちを引き締めて業務に当たりたい。



幼稚園教諭及び職員

子ども達が豊かに成長できるように努力するなど、志気は高く、職員同士の協力する姿が顕著である。

特性のある子ども達への対応や2号認定、預かり保育利用の増加に対応する為に教職員の増員が必要となっている。また、令和7年度には3名の育児休業の取得希望者がいることや復帰後の時短勤務の希望者が多くなることが予想されるため、例年より多くの幼稚園教諭を採用したいと思う。

幼稚園教諭が安心して育休を取得し、就労ができる環境を整えることが重要ではあるが、休業を取得していない職員に負担が偏らないように検討することが必要になることが予想される。

保育では、子ども達が生き生きと活動することを思い浮かべながら教職員達が話し合う姿や新しい発想を柔軟に実行する姿は、幼稚園としての貴重な財産だと改めて感じた。

自園給食を開始して2年が経過したが、栄養士をはじめとした調理員達のチームワークのおかげで質の高い給食が提供できたと思う。食育では、保護者と協力した「味噌づくり」や自分達で苗や種から育てていくプロジェクトも始まるなど、次年度が益々楽しみである。

次年度も教職員が一丸となって、安心安全でより良い幼児教育・保育活動を目指したい。



財政面

2号認定の増員や預かり保育の人数増加により、財政面は例年より向上している。次年度は、定員を満たすことが出来たため、経営状況は良好であるが、新型コロナや世界情勢の不安定化、ウッドショックによる影響により、建設費が増額になったため、気を引き締めて経営を行っていく必要がある。



入園児の状況及び待機児

探求プロジェクト型保育や新園舎の建設など、自分たちの保育を可視化することにより入園を検討されている保護者の方へのアピールができたと思う。

実際に、「良い保育や幼児教育」というわかりにくいイメージであったものが、可視化されることにより私たち自身も「明確に未来を生き抜く力を育むための教育を行う」という軸はできたと考えている。

次年度は、定員も満たすことができ、現在でもキャンセル待ちの方がおられるなど、少しずつ地域の方々に認められたことを嬉しく思う。今後も入園を希望されるように努力していきたい。

努力した幼稚園教諭や職員、ご協力頂いた保護者の方々、近隣の皆様にも感謝したい。

I 法人本部

1. 所在地

大阪府豊中市曾根南町1丁目1番5号

2. 法人事業の経営理念

学校法人 常楽寺学園は、学校教育法及び教育基本法、幼稚園教育要領、に基づき、教育及び保育を提供するために「ほづみあそびまなびの森」を設置運営する。

本学園は、保護者の多様な意向を尊重して総合的に提供されるよう相違工夫することにより、次代を担う子どもが、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援、助長するため、曹洞禅の精神に基づき、子どもの教育と養育を行う。

3. 経営方針

(1) 経営基盤の強化

学校教育事業や公益的な事業への自主的な取組について、責任を持って実施できる管理経営体制を構築する。

(2) 事業経営の透明性の確保

法人内で実施されているサービス内容や経営内容などの情報についての透明性の確保に努める。

4. 実施事業

(1) この法人はその目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

- ・ ほづみあそびまなびの森（定員 95 名）

所在地 大阪府豊中市曾根南町1丁目1番5号

5. 理事会の開催

(1) 第1回 理事会・評議員会（5月）

- ① 前年度事業報告及び決算報告の審議、その他

(2) 第2回 理事会・評議員会（12月）

- ① 補正予算審議、寄付行為の変更について

(3) 第3回 評議員会・理事会（3月）

- ① 次年度事業計画及び当初予算の審議、その他
- (4) 臨時 評議会・理事会（随時）
- ① 審議の必要に応じ随時開催

6. 構成

- (1) 理事 6 名（理事長含む）
- (2) 監事 2 名
- (3) 評議員13名（理事含む）

7. 中・長期計画

- (1) 地域の子育て支援ニーズに対応した事業実施
 - ① 新規地域子育て支援事業の実施
- (2) 適正な経営及び財務と透明性の確保
- (3) 保育の質の向上と透明性の確保
 - ① 学校関係者評価・自主評価の実施
- (4) 組織の活性化
 - ①職務や個々に応じた研修計画の策定

Ⅱ ほづみあそびまなびの森

1. 保育目標

生活・あそび・行事を通して
意欲や興味を育てる
豊かな創造性・感性を育てる
良心を大切に守り、育む
よく考える力・学びへの意欲を育てる

2. 保育理念

子どもの そのままの姿を受けとめよう
いきいきと取り組んでいる姿や 熱中した状態を大切にしよう
たくさん抱きしめよう
たくさん失敗ができる場所にしよう
「ほんものがもつ力」を大切にしよう
みんなで 子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう

3. 令和6年度の重点項目

- (1) 新たに施行された法律や条令 幼稚園教育要領の理解
- (2) 働き方改革法への対応
- (3) 食育活動の充実を図る
- (4) 保健計画の充実を図る

4. 特別保育事業

(1) 預かり保育事業

(2) 病児保育事業

5. 地域交流事業

(1) 世代間交流事業

① 地域の高齢者や小学生との交流（年1回）

(2) 地域子育て支援事業（自主事業）

① 貸し出し絵本（月1回）

② 臨床心理士による育児相談（月1回）

③ 幼稚園教諭による育児・教育相談（随時）

(3) ボランティア、就業体験受け入れ事業

① 保育士養成機関実習生受け入れ

② 中学生職場体験受け入れ

6. 職員構成

職種 正規職員 非常勤職員 嘱託職員

園長 1名

教頭 1名

主幹保育教諭 2名

幼稚園教諭 17名

事務員 3名

看護師 1名

学校医（内科） 1名

学校医（歯科） 1名

学校医（眼科） 1名

学校医（耳鼻科） 1名

薬剤師 1名

多様性スタッフ 1名

7. クラス編成（令和7年3月31日現在）

クラス名	年齢	児童数	保育教諭数	備考
年長	5歳児	32名	1名	
年中	4歳児	33名	1名	
年少	3歳児	32名	3名	
		計97名	5名	

8. 健康管理

(1) 内科検診

年2回

(2) 歯科検診

年1回

(3) 身体測定

毎月

9. 衛生管理

(1) 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

10. 安全管理

(1) 不審者・防犯指導

年1回

(2) 交通安全指導

年1回

(3) 避難訓練

非常災害対策訓練年間計画表に沿って実施（年12回）

11. 食に対する取組

(1) アレルギー対応の実施

(2) 年間食育計画に基づいた取組の実施

(4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

12. 苦情処理

(1) 苦情への適切な対応により、利用者の満足感を高めると共に、利用者が適切に利用する事が出来るように支援する事と、苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や当園の信頼と適正性を図る為に苦情解決規程を設けて、お知らせ、ポスター、ホームページなどで周知する

15. 情報公開

(1) ホームページの開設

実施されているサービス内容や経営内容などの情報について、透明性の確保に努める。

16. 行事予定

4月 入園式

5月 子どもの日の集い・歯科検診

6月 田植え・内科検診・個人懇談・尿検査・プール開き

7月 七夕まつり・お泊り保育

8月

9月 稲刈り・だんらんまつり・遠足

10月 からだあそびプロジェクト・いもほり

11月 個人懇談

12月 おもちつき・クリスマス会

1月 ほんものプロジェクト

2月 節分・表現あそび

3月 ひな祭り・学校関係者評価委員会・卒園式

毎月（発育測定・お誕生日会）

ほづみふぁーざーず（おやじの会） こどもの遊び場プロジェクト・キャンプ開催

17. 研修計画

幼稚園教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。幼稚園教諭等に求められる人間性と専門性について、俯瞰的に計画する。

18. 職員会議

- (1) 定例会議（毎月）

19. 福利厚生

- (1) 職員健康診断（年 1 回）
- (2) 細菌検査（毎月）
- (3) 学校退職金財団